

2023-24
秋冬号

家庭画報 特選

綴じ込み付録

草乃しずかさん
日本刺繍
ポストカード

きもの
サロン

檀
れいさん
表紙の人

連載

浅田真央さんの
きもの修業
阿川佐和子の

「きものチャンピオンカンピン」

名古屋帯を
極める

源氏物語の色を纏う
仙道敦子さん
アウター大研究
板谷由夏さん
原田美枝子さんの
「きものリメイク」

品格と華やぎの

賀来千香子さん、
佐渡裕さん

これが正解！シーン別着こなし決定版
主役きもの

豊中 織元

◇このひと技で解決！◇
着付けレスキュー
動画解説つき



秋の都——光源氏の父・桐壺帝は、祝宴に参加できなかった藤壺の宮のために宮中で催事をを行います。光源氏は藤壺の前で恋心を秘めながら「青海波」を舞います。松葉の常盤色を背景に赤く色づいた木の葉が散り交う中での、艶やかな源氏の舞い姿。移ろう季節の刹那の美を写したかのような紅葉色のきものは、茜で赤を染め出した後染めのもの。平安装束の唐衣にも使われる浮線綾文の帯を合わせて、格調高く高貴な装いに。きもの／染司よしおか 京都店 帯／豊中・織元 帯揚げ／和小物さくら 帯締め／道明 髪飾り／てっさい堂

「もみじのが」

紅葉賀



「みをつくし」

霽標



最も高貴とされた色。一度は須磨へ
源氏が華々しく都に返り咲く様が描
「標」の結を、貴重な紫根で染めた気
色無地のコーディネートに映し出し
有職文様である窠に蔽文様を表した
の帯に「桐壺」と銘された唐組の帯締
せ、物語を彩る公達の典雅な装束に
せて。きもの／染司よしおか 京都
豊中・織元 帯揚げ／和小物さくら
道明 髪飾り／てっさい堂

母娘で行く美術散歩

豊中・織元の西宗恒治社長は、きもので楽しむ場所を増やしたいと、この秋、藤田美術館での美術散歩の会を企画しました。秋の日に、きもの姿が美しく映える場が集まり、お客様に楽しいひと時を過ごしていただきたいと考えました。

藤田美術館は、明治時代に活躍した実業家藤田傳三郎が収集した東洋古美術のコレクションを展示している美術館で、学芸員のテーマ作りが楽しく、企画展は毎回注目を集めています。9件の国宝を所蔵し、日本に4点しかない曜変天目茶碗のひとつを収蔵していることでも有名。美術館の庭園と続く藤田邸跡公園も美しく、西宗店主おすすめめの場所です。今回は美術散歩の会に先立ち、お客様の小澤真也子さんと、東京にお住まいの娘・石川芽生さんが帰省されたタイミングで、きもので美術散歩にお誘いしました。

楽しい会を企画する豊中・織元社長西宗恒治さんと女将の珠紀さん。先ず、大人可愛い趣味のきもののがこれに社長好みの趣味性の高い帯が加わって、上質な装いが叶います。



散歩に着ていただきたいと、京都で注文したオレの小紋。深い秋には若々しく見える葡萄茶が似別染めし、現代的な着い寝文を飛ばしたもの。柳各子帯が芯のある女性を演出します。左・インド風更紗文様小紋に壺垂れ文様織袋帯。個性的な帯卖りたい一揃い。きも・帯すべて豊中・織元

おこなわれたのは「藤田美術館」

絵宝船置物(重美)

宗野々村仁清 江戸時代(17世紀)

国の伝説上の鳥である鶴をかたどった船首に、松竹梅と鶴などおめでたい意匠の帆がかかった置物です。加賀の田家に伝わりました。9月30日まで展示中。9月1日～9月30日は「江一藤田家茶会」展。

阪市都島区網島町10-32 ☎06-6351-0582



撮影/森山雅智
ヘアメイク/石田華江
着付け/川上まり子
構成・文/相澤慶子



母・小澤真也子さん
水浅葱の地色が美し
纏いました。大きく
したなかに、花菱文様
し、金彩や刺繍を施
ンが素敵です。屋間
キリと着られるもの
様の花菱と世界観の
帯が調和しています
団で男役として活躍
お父様の会社のお専
ージャーを務める女
と美術館を訪れまし
んのきものは、友和
果的に使う作家の意
朝焼けに染まる瑞雲
文様訪問着。会
二人の装いが白眉

藤田美術館で美の極みを堪能する



室内で藤田美術館館長・藤田 清さんにお会いし、展覧会「紙本着色女装三藏絵(法相宗秘事絵詞)、高階隆ついでお話をうかがいました。この日の真也子さんは、紫苑色地大小あられ文様江戸小紋と雪輪たすきに染め帯で。優しい表情に紫の江戸小紋がよく映えまじ色地の稲垣珍次郎作の霞文様型絵染めきものに荒川さんの帯を合わせた芽生さんの装いも魅力的です。

きもので楽しむ

豊中・織元の「秋の美術散歩」

日時：11月9日(木)

10時～11時15分(鑑賞フリータイム)

13時30分～(鑑賞フリータイム)

場所：藤田美術館

●ランチタイム

時間：11時30分～ 参加費：1万円(税込)

場所：ザ・ガーデンオリエンタル・大阪

大阪市都島区網島 10-35 ☎ 06-6353-8810

きもの姿で、藤田美術館に集合。フリー鑑賞の後、藤田美術館のお隣、ザ・ガーデンオリエンタル・大阪で、藤田美術館館長・藤田 清さんによるアートトークショー＆ランチをお楽しみください。藤田傳三郎翁から数えて5代目の子孫にあたる館長から、どんなお話が飛び出すのか、ご期待ください。

お問い合わせ／豊中・織元
大阪府豊中市本町4-1-8 ☎ 06-6849-5298



藤田美術館のガラス張りのエントランスの中は、広いエントリースペース。「あみじま茶屋」があり、団子とお茶を提供。天然木のベンチでほっとするひと時を過ごせます。展示室には、明治時代末に建てられた蔵の部材が使われ、後ろの黒い扉もその面影を残しています。鑑賞が終わった二人は感想を話し合っています。




格のある帯とのコーディネートで
お出かけに活躍する小紋

爽やかな空色の地に秋に咲く桔梗や菊などの花丸の文様が飛び柄に配された“ぬれ描き友禅”。帯次第では格式の高い場所にもふさわしい、付け下げの役割も果たしてくれる小紋。瑞雲の織り帯を合わせればご夫婦でのディナーなどでも活躍する一枚。きもの／豊中・織元帯／佐竹孝機業店 帯揚げ／和小物さくら帯締め／道明 バッグ／井澤屋

きものの装いで “自分”を知る

文／前田 愛



上・帯次第で付け下げ感覚の着こなしが楽しめる
万能なきもの地。右から若草色の地に、ぼかしと
菊の柄をあしらった小紋。きもの／きもの創り玉屋
福岡店 こっくりとした濃紫の有栖川文様の小
紋。きもの／豊中・織元 左・気持ちも華やぐ多色
の経緋が可愛い希少な秦荘紬。きもの／廣田紬